

本人のいいところを見つけて のばそう

～発達障がいの理解と対応を中心に～

2024年 10月 16日

宮城学院女子大学

梅田 真理

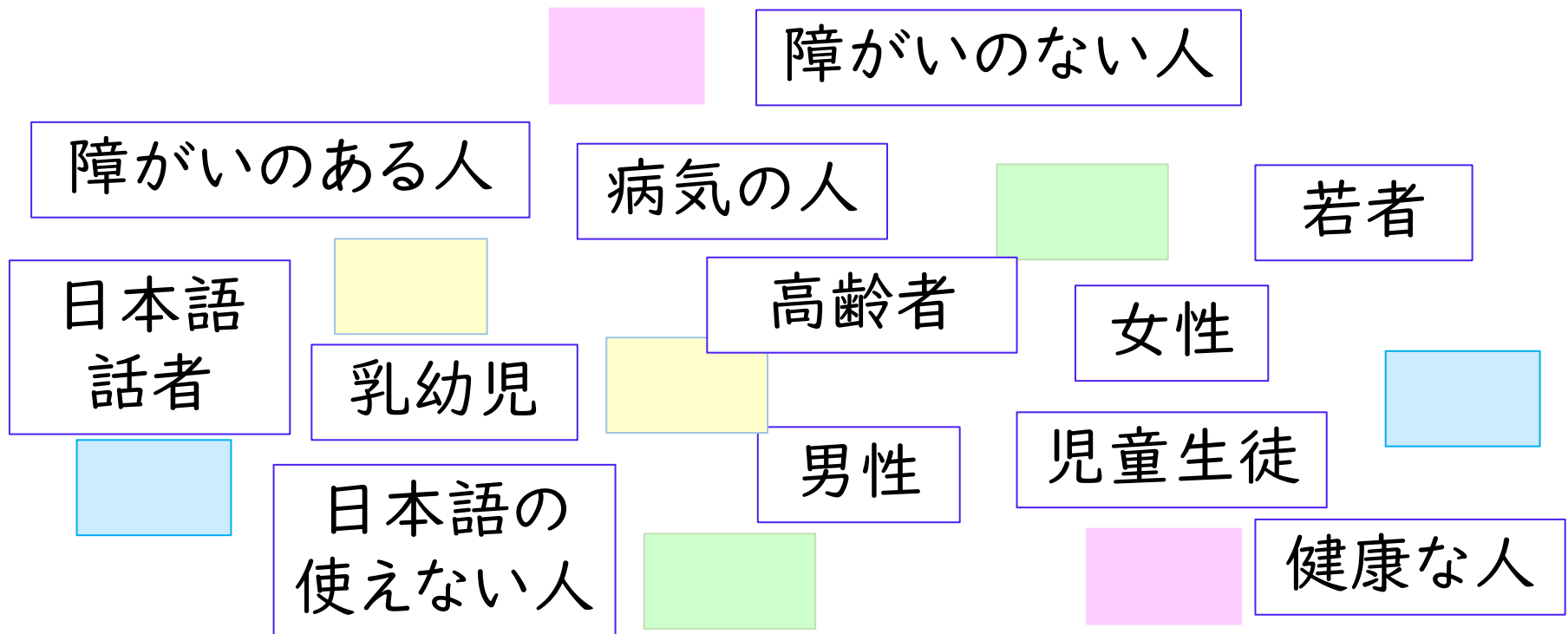
今日の予定

- 0 一人ひとりに応じた支援
- 1 子どもの「困り」に気づく
- 2 発達障がいのある子どもたち
- 3 子どものよさを見つける

0 一人ひとりにあわせた支援

インクルーシブ教育システムの構築は、「共生社会」の実現を目指しています。

この「共生社会」とはどのような人々がくらす社会でしょうか。



*障がいのある人と共に生きるとは

どういうことでしょうか？

- ・相手のことを知る。
 - ・困っているかどうかを知る（聞く）。
 - ・必要な手助けの中で、自分ができることをする。
 - ・他の人と一緒に手助けできることを考える。
-
- ・相手の好きなことを知る。
 - ・自分の考えを伝え、相手の考えを聞く。
 - ・一緒に過ごす、楽しむ、くらす。

「特別支援教育」

「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

特別な支援を必要とする子どもたち

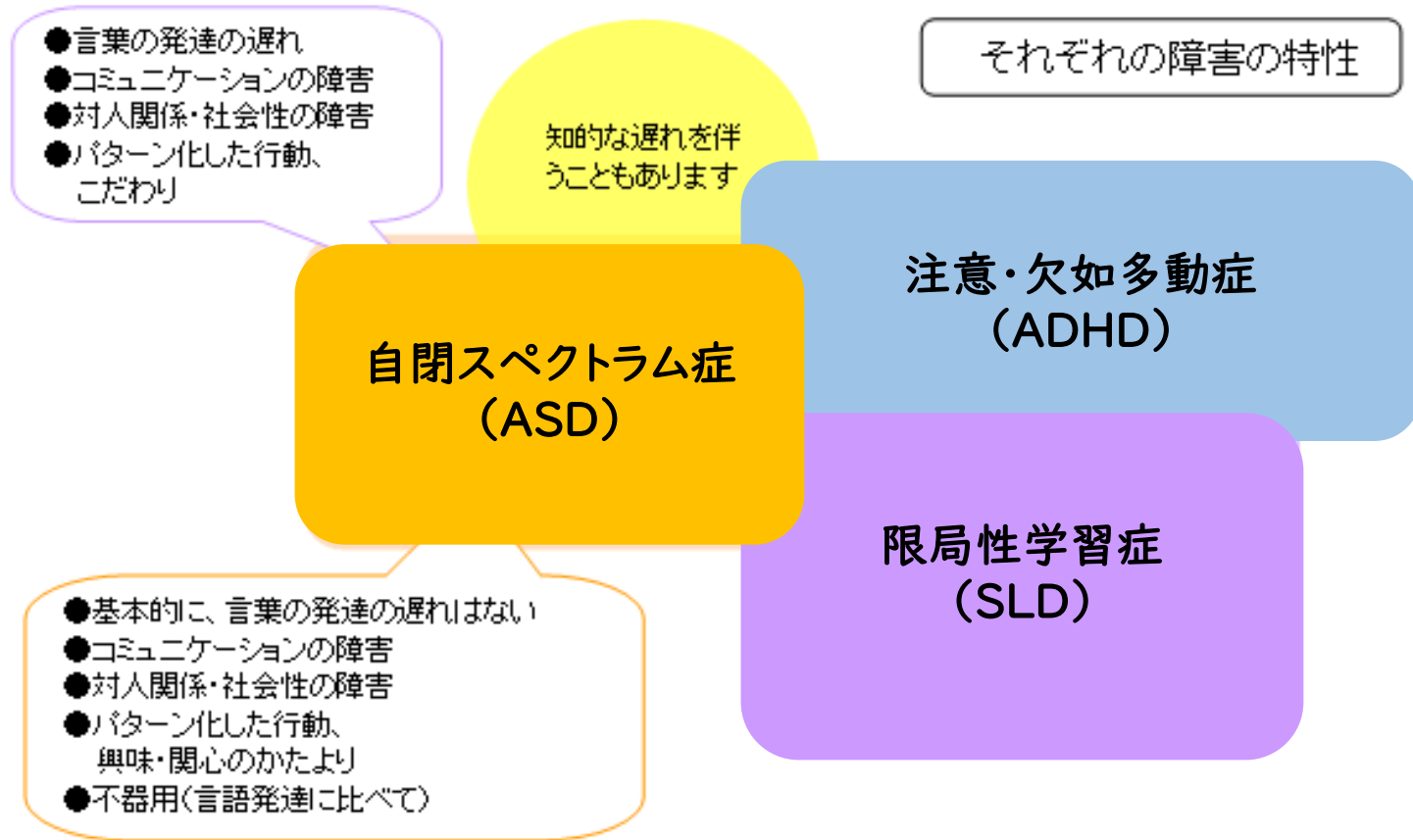
特別な支援を必要とする子ども

虐待、経済的困難、外国籍、
ギフテッド、LGBTQ+など

- ・ 発達障害
(LD、ADHD、自閉スペクトラム症など)
- ・ 既存の障害児教育
(視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病虚弱)

発達障がいについて

発達障害の概念図



発達障害者支援法において、「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

知っていますか？

発達障害とは

2005/4 施行

1. 発達障害者支援法 第2条

- ・自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害
- ・学習障害
- ・注意欠陥多動性障害

脳機能の障害

2. 発達障害者支援法施行令(政令第150号第1条)

- ・言語の障害
- ・協調運動の障害

3. 発達障害者支援法施行規則(厚生労働省令第81号)

- ・心理的発達の障害 ・行動及び情緒の障害

個々に応じた支援のために

- ・適切な支援を行う上では、より正確な実態把握が大切。

一度ではなく、繰り返し行う!

- ・診断名にこだわらず、ひとり一人の状態をよく「見る」(観察する)ことが重要。
- ・発達障がいにおいては、障がいの有無の境目が
わかりにくく、子どもの性格と捉えられてしまう
こともあることを知っておく。

1 子どもの「困り」に気づく

人との関わり…

- 相手の気持ちを考えることが苦手。
- 相手が嫌がっているのに気づけない。
- 自分のことが中心になる、わがまま。
- 我慢ができない。
- じっとしていられず、すぐ人にちょっかいを出す。

コミュニケーション…

- 年齢相応の会話ができない。語彙が少ない。
- 話の内容を理解できない。
- 自分のことばかり話す、自分の言い分を曲げない。
- 話を聞けない。 etc…

子どものニーズ(何に困っているか)を 探るときに必要な情報

(1) 知的発達はどうか? → 知的な発達はすべての
基礎になる。

(2) 家庭環境はどうか?

(3) 養育過程に問題は
なかったか?

保護者の子育ての苦勞を
知り、信頼関係を築くため
に必要なこと

保護者・関係者からの情報の収集
※ **生まれてからの様子**の聞き取り

言葉が育つ基礎

必要な要素

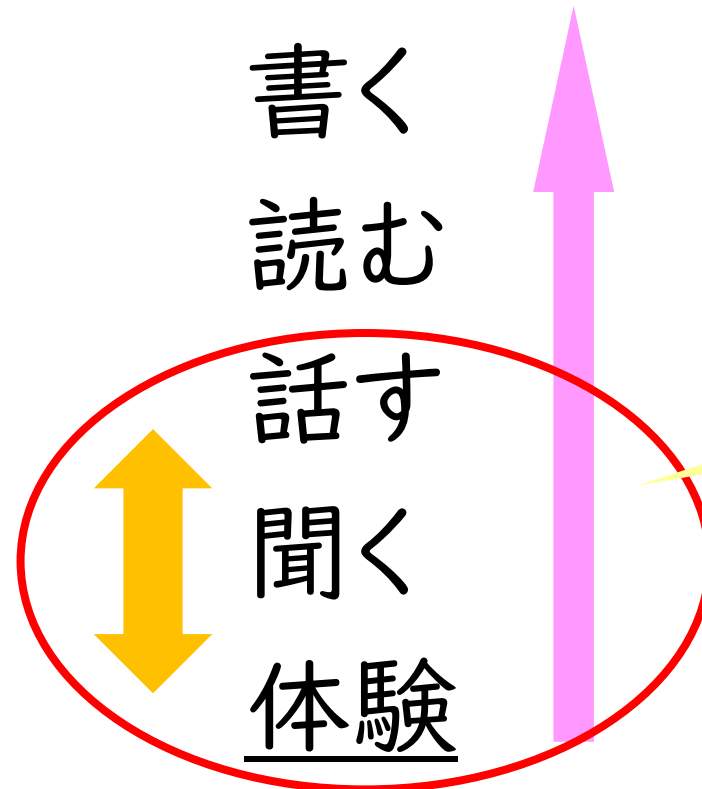
1. 聴覚や口腔機能などが正常に機能している

2. 周囲からの適切な言葉かけ

3. 正常の機能を備えた中枢神経

言語・コミュニケーションの発達

言語発達の順序



子どもの発達と
環境は密接に
かかわっている

2 発達障がいのある子どもたち

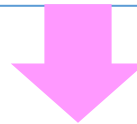
子どもの発達の過程で
徐々に明らかになる障がい

- ・生まれつき、脳の一部の機能に障害があり、そのために、認知、言語、社会性および運動などの機能の獲得が障害される状態。

「わがまま」
「自分勝手」
「しつけが悪い」

障がいかどうかの判断の難しさ

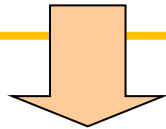
- ・乱暴な行動をしてしまう
- ・周囲の人や物が気になる
- ・落ち着きがなく、集中が続かない
- ・自分のことで精一杯で、周囲の人の感情が理解できない
- ・周囲の反応に敏感で、かっとしやすい



誰にでもある特徴で、特に幼い頃にはよく見られる特徴

医学的な検査でわかる障がいと 医学的な検査でわからない障がい

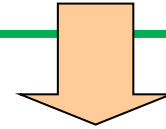
医学的な検査で
わかる障がい



ダウン症候群、てんかん etc...

早期に診断がつく場合が多い

医学的な検査で
わからない障がい



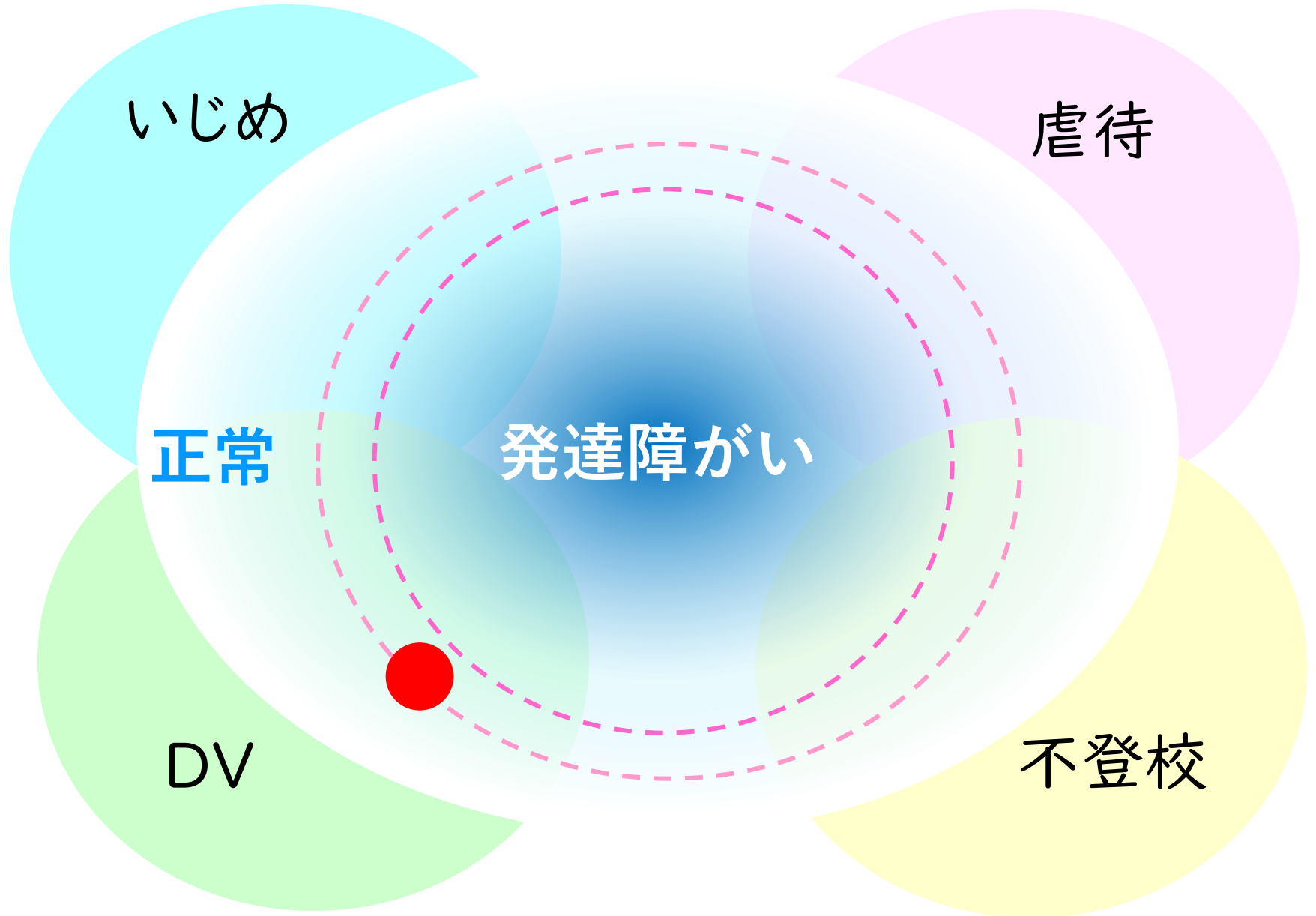
ASD、知的能力障害 etc...

発達経過や症状で判断



障がいによって発見の時期が異なる

どこからが発達障がいか？



ポイント

- ・どの段階でつまずいているかに**気づく**
- ・特に苦手なことはどんなことを**よく見る**
(他の職員と相談しながら、みんなで観察)
- ・要因となるものは何かを**考える**
(いろいろな価値観を踏まえチームで対応)



失敗は当たり前!

試行錯誤を重ね、
子どもにあう支援の方法を見つける

(1) 自閉スペクトラム症 (ASD) の特徴

中枢神経系 (脳) の何らかの機能障害

~~育て方？
愛情不足？
ひきこもり？~~

特徴は、無くなるもの
ではない。

社会的コミュニケーション
及び対人的相互反応に
おける持続的な欠陥

行動、興味または活動
の限定された反復的な
様式

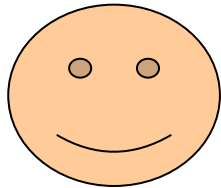
感覚の問題 (味覚・嗅覚・触覚・聴覚など) を併せもつ場合もある

ASDの人のものの見方の特徴

～映像で考える～

絵や映像で
考える

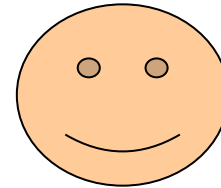
ASDの方



情報の捉え方
の違い

言葉・シンボル
も用いて考える

私たち



わかりやすいこと

見えること
はっきりしてること
決まっていること

文字、数字、マーク、パターン

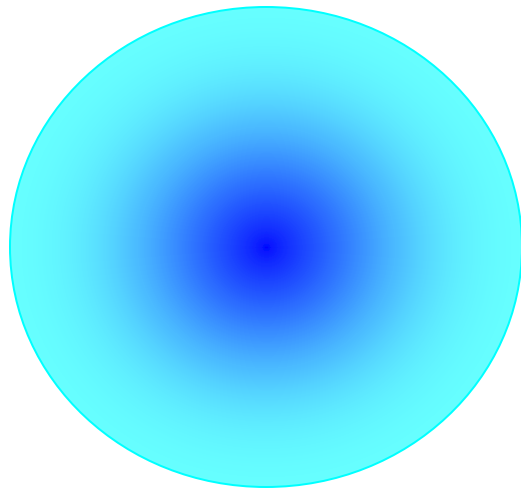
わかりにくいこと

見えないこと
あいまいなこと
決まっていないこと

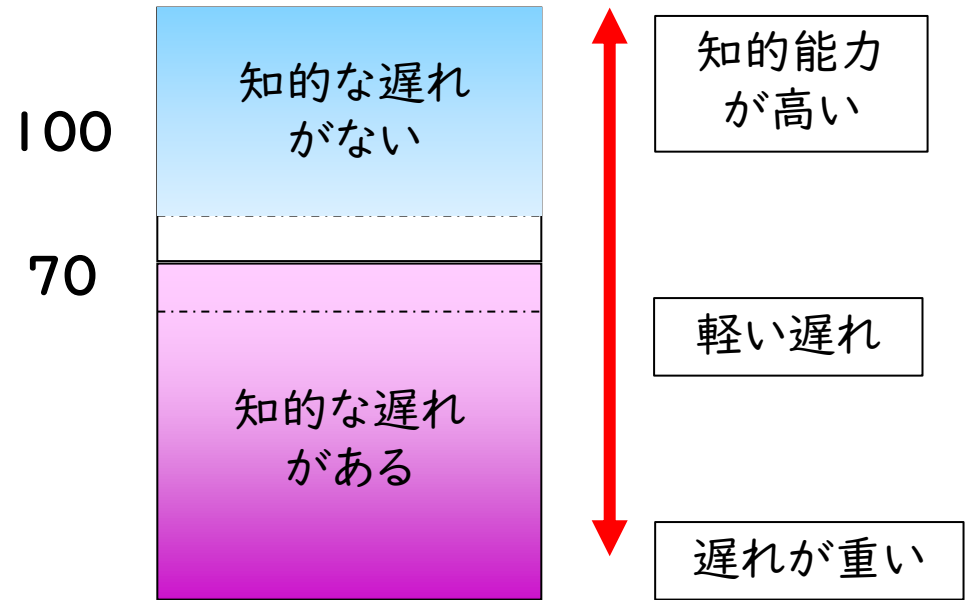
言葉の意味、人の表情や意図

ASDと知的能力障害の関係

- ・「ASD」と「知的能力障害」は**基本的には別の障がい**。
ASDの6割から7割に知的能力障害が合併する。



ASDの症状



知的な遅れのレベル (IQ)

共感することの難しさ

・子どもは4歳後半～5歳頃、「相手はどう考えているか」ということを理解できるようになる。位置が移動したり、内容が変わっても、それを知らない相手は「どう思うか」を正しく答えられる。

しかし、ASDのある子どもは、知的に遅れがなくても、この課題を通過できないことが多い。

(2) 学習障害 (LD) とは？

(Learning Disorders / Disabilities)

「医学的定義」と「教育的定義」がある。

医学的定義

診断基準に基づいたもの。
全般的な能力に比べて
「読むことができない」
「書くことができない」
「計算ができない」
など特定の能力に問題があり、
学習面につまずきが見られる
子どもたち。

教育的定義

教育用語。
全般的な知能は正常なものの、
能力間にアンバランスがあり、
学習に問題が見られ、教育上
個別な支援が求められる
子どもたち。

LD(学習障害)とは(「教育的定義」)

基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、
聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する
能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を
示す様々な状態を指す。

その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害が
あると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、
情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因
となるものではない。

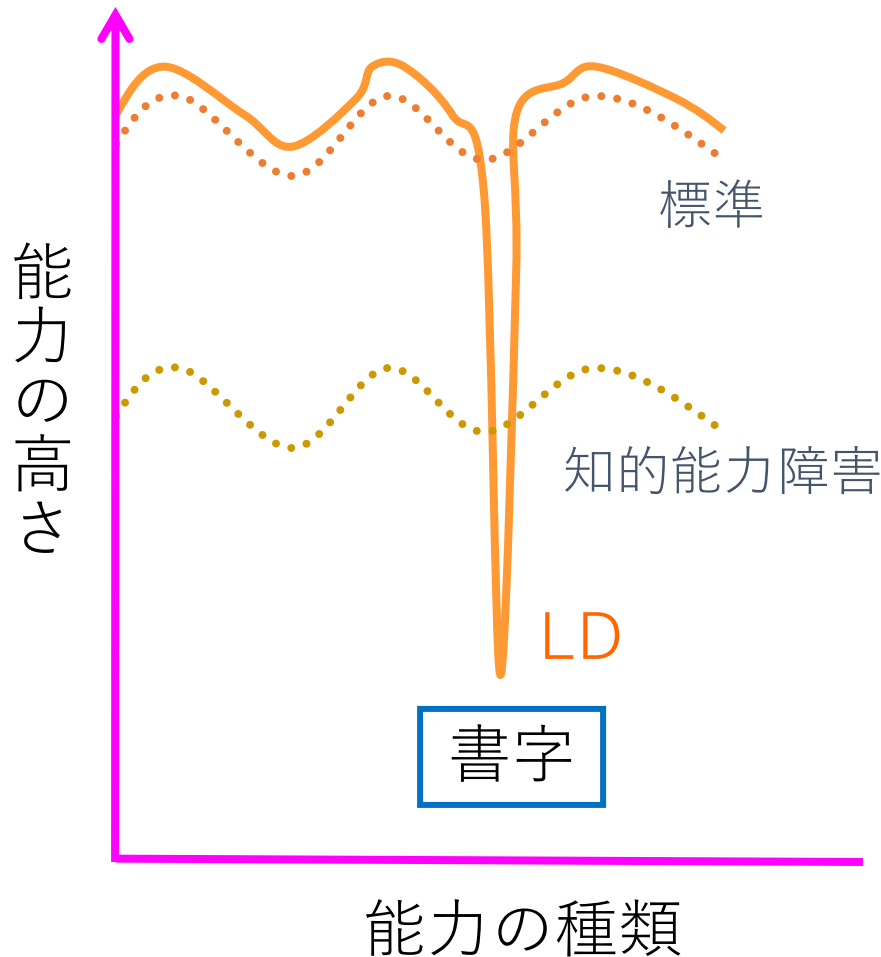
【医学的定義】(DSM-5)

限局性学習症 (Specific Learning Disorder)

- ・読字の障害を伴う
- ・書字表出の障害を伴う
- ・算数の障害を伴う

ディスレクシア (読字障害)
(読み書き障害)

学習障害 (LD) に対する基本的な考え方



困難なこと、
できないことが
限られている
ため、努力不足
と捉えられ、
気づかれにくい

(3) ADHD (注意欠如・多動症)とは？

(Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)

不注意

- ・見落としやうっかりミスが多い
- ・注意集中が維持できない
- ・話しかけに対して聞いていないように見える
- ・最後まで課題(仕事など)をやり遂げることができない
- ・課題や活動を順序立てて行えない
- ・集中して行わなければならない課題ができない
- ・物をなくすことが多い
- ・外からの刺激で注意が容易にそれてしまう
- ・物忘れをすることが多い

多動

衝動性

- ・よく手や足をそわそわ動かしたり、トントン叩いたりする
- ・席についていなければならないときに席を離れる
- ・不適切な状況で走り回ったり、高いところへ登ったりする
- ・静かに遊ぶことができない
- ・じっとしていることができない
- ・しゃべり過ぎる
- ・質問が終わる前に出し抜けに答え始めてしまう
- ・他人を妨害したり、邪魔したりする

ADHDのある子どもの困難

- ① 集中すること
- ② 集中を持続すること
- ③ 注意深く行動すること
- ④ やりたくてもがまんすること
- ⑤ じっとしていること→じっとしつづけること
- ⑥ 黙っていること→黙り続けること
- ⑦ 考えてから行動すること
- ⑧ 同じ活動を一定時間続けること
- ⑨ 同じレベルの成果を上げ続けること

すべて学習に関すること

ADHDのある子どもの「つらさ」

① 幼少期から多くの失敗を経験する。

ex.不注意や軽率さ→厳しい叱責

② 他者の承認を得られないことに傷つく。

ex.「何をやってもうまくいかない」「認められない」

③ 焦りと怒りが増す。

ex. 不適応行動が増える→叱責→悪循環

「なぜそんなことするの」
と言われても…

振り返って考えることが難しい

服薬について

・ADHDの症状は服薬による効果があることが立証されている。

→コンサータ：12時間効果が持続

ビバンセ：2019年3月承認(12時間持続)

ストラテラ：24時間効果が持続

インチュニブ：24時間効果が持続

ADHDのある子どもの指導・支援において、
医療と教育は両輪の輪である！

3 子どものよさを見つける

子どもの得意・不得意を知る

*よいところはどんなところ？

→手伝いや日常生活の中でできそうな
ことを探してチャレンジさせる

・苦手なことは少しずつしか伸びていかない
ことを知っておく!



生活のスキルは、周囲も
「すごいね」と認めてくれる

価値観を変える!

*得意なこと:例えば足が速い、算数が得意、絵が上手、ピアノが弾ける…、特技的なことだけ?

*洗濯ができる、食器が洗える、ご飯が炊ける、優しい、作業が丁寧、虫が好き…、これだって得意なことでは?



「得意なこと」は人それぞれ違う!
いろんな「得意」があってもいい!

あなた(大人)のいいところはどんなところ？

- ・神経質→「細やかな性格」
- ・忘れっぽい→「考えすぎず、切り替えが早い」
- ・落ち着きがない→「エネルギーでパワフル」

→価値観を変えて自分を見つめることも大切

環境の整備

*みんなで取り組むこと

- ・他の人の話は静かに聞くなど、ルールの設定
- ・一日の流れや活動の流れは、最初に視覚的に示す。
- ・今何が行われているか、分かるような工夫をする。
- ・具体的な指示をする。
- ・分からないことは質問できる雰囲気作り。

その他の環境の整備

*室内の環境整備→事業所全体で取り組む

- ・使う物は置き場所を決める
(片付け方がわかりやすい)
- ・掲示物の整理
- ・座席の配慮
- ・室内外の騒音への配慮
- ・ルールを見てわかるように掲示する。

「やった！できた！」を大切に

【大切にしたいこと】

「認める、ほめる、居場所をつくる」

- ・ できたことは認める（他の失敗をしても）
- ・ 役割を与える
（ほめることにつながるように）
- ・ ほめる時はみんなの前で、注意は個人的に

「強い力を活かす」へのシフトチェンジ

強い部分を活かす

得意なこと、
強い力はなに？

自分の得意なことは何かを
探す、見つける、増やすことで
学ぶ意欲をup!

弱い部分を伸ばす

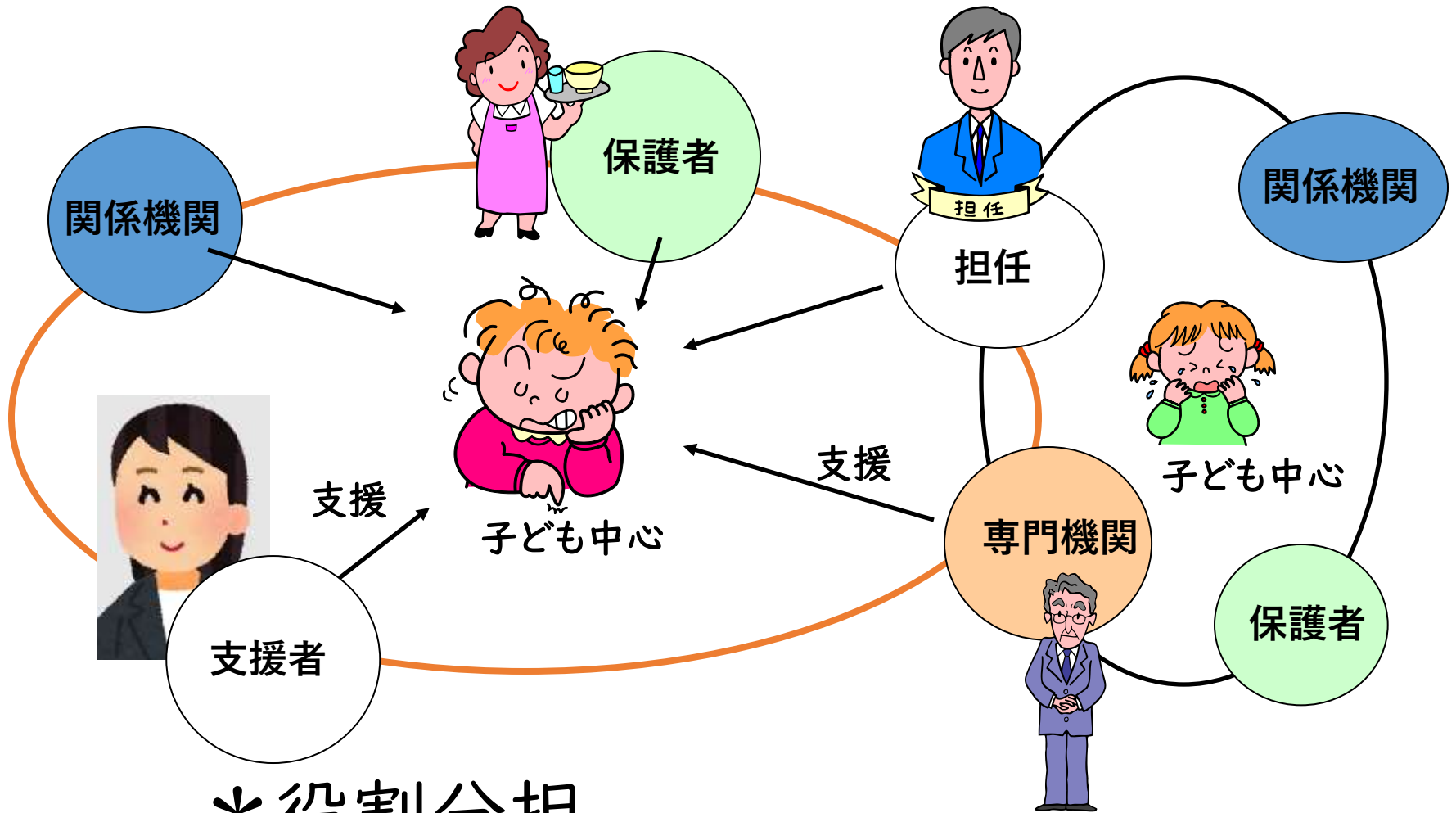
苦手なことは根気よく
少しずつの改善を
目指して取り組む

>

子どもと
一緒に
作戦会議
をしよう!

どのくらいの分量で、
どんなやり方なら
一人でも継続できるか？

◆ 子どもを中心にすえた支援



* 役割分担

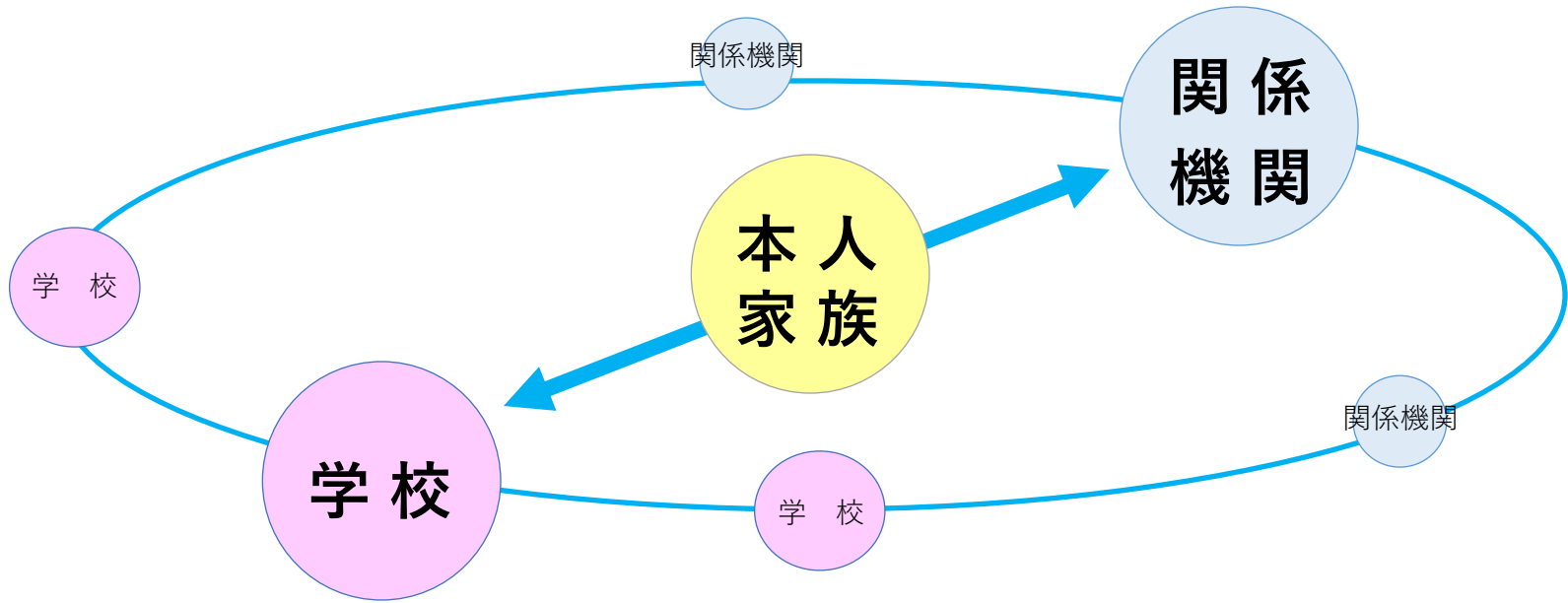
* それぞれの側面からの支援

専門機関との連携

* 支援のための事業やシステムを知っている
ことが大切。

* 「何を使えばよいか」が分かっている、
あるいは「誰に聞けばよいか」を知っている。

自ら「連携」できるように



周りから手をさしのべられるのを待つのではなく、
自分から「助けて」と言える力をつけることが大切

自立に向けて育てたい力

保護者の
自己有用感も大切!



① 「社会(家族…etc)にとって必要な人間である」という意識をもつこと

→ 自己有用感

② 自分の特徴を理解し、周囲の資源や援助をうまく利用していく能力を身に付ける



自尊感情を高める

進む道を選ぶ

どのような進路であれば**自分**の特性を活かせるか？
どんな目標があればがんばって仕事ができるか？



特別なことではなく、
どの子にとっても大切なこと

* **自分**が支援の輪から

ぬけた後を考えながら支援する

